



「人と人 人とみどりが響きあい 笑顔あふれる 東村山」  
**駐輪場完成**  
 駐輪場が完成しました。「い〜ね〜ここ!」と、子どもたち。  
 「ピアガーデンもできそうですね!」と、母たち。  
 幼児でさえも、そう口にしてくれていました。

単なる駐輪場。アスファルトで固める?安価に砂利を敷く?  
 日々、子ども達だけでなく、ご家族、近隣の皆様の目にも触れる環境。その環境こそ、「素敵・綺麗・美しい」姿であるからこそ、人々の心をも美しいものとし、子どもの記憶にも、高き感性や価値観、そして、誇りまでもが育まれていきます。

また、入口には「東村山むさしの環境憲章」を掲げさせて頂きました。園の理念にある自然環境と人。草花を大切に。そういった心が、子ども達の豊かな育み、日本の将来の宝とつながっていくものでしょう。



また、入口には「東村山むさしの環境憲章」を掲げさせて頂きました。園の理念にある自然環境と人。草花を大切に。そういった心が、子ども達の豊かな育み、日本の将来の宝とつながっていくものでしょう。

# むさしの

が書く 学園長

# 新聞

Vol. 12

幼保を取り巻く現場からの情報誌。私的な思考も含めた乱筆なる走り書きの紙面であり、誤字脱字、誤記、誤解等あるかもしれませんが、ご容赦頂きたく存じます。

## この夏の講演・昨今の掲載など

この夏も、全国各地、各方面より講演のご依頼を頂き、その折にはご清聴頂きまして誠にありがとうございました。平成 27 年度、幼稚園や保育所におきましては戦後初の大改革となった、「子ども子育て支援新制度」。制度改正に準じた実践と政策両面からの組み立て、また、実践に関わる多岐にわたるアイテムの活用、そして、超少子化 & 乳児及び長時間保育ニーズへのシフトに応じた経営の見直し策など、お話しさせて頂きました。

また、人口構造の崩壊を基調とする、あらゆる方面への危機を背負う日本。今後はさらに加速化が予想され、誰もが経験したことのない時代を迎えての、「的確な下山経営」への理解と推進、「政策的経費と経常的経費に関する感覚」、その中であって、幼保を超え、必ず進むであろう「すべての子どもに対する教育と保育の一体提供に向けての意義」、また、「新たなニーズの発掘と組み込み」、など、今後必要であろう新体制での対応などにも触れさせて頂きました。

お陰様で、「他に例がない」「きわめて画期的」などのお声を頂く機会も多くなり、幼保両園が、過去の制度の枠組みを超え、ともに取り組む形での画期的な形態の実現に際しまして、市行政はじめ関係各位におかれましては感謝の念に尽きません。今後も、この東村山の地における、唯一の実践や検証を重ね、多方面でも参考となり、ご活用頂けるよう、取り組みますと同時に、このような広報活動に関してご協力の幅を広げていきたいと思っています。

なお、視察や研修、また、相談などに関しましては、本学業務にも支障が出てしまうため、園サポート会社も外郭にご準備させて頂きました。的確に効率よく業務のお手伝いができるよう、体制を整えておりますので、ご活用ください。



■第 90 回記念経営戦略セミナー「研究会全国大会」研究会分科会講師 ※株式会社船井総研  
 ■認定子ども園移行事例徹底公開セミナー特別ゲスト講演 ※株式会社船井総研  
 ■次世代経営者セミナー講師「園再建への組み立て」 ※株式会社ジャクエツ など

### 筆者紹介/東村山むさしの認定子ども園



第一・東村山むさしの幼稚園  
 第二・東村山むさしの保育園  
 学園長・野澤貴春

1971 年 1 月、市内廻田町に生まれる。  
 1983 年、東村山市立廻田小学校卒業。  
 1986 年、同、東村山第四中学校卒業。  
 1989 年、明星高校卒業。  
 1993 年、中央大学・法学部卒業。  
 1997 年、学校法人野澤学園勤務。  
 2008 年、事務長を経て園長へ就任。

現在、東村山市子ども子育て会議委員、都私幼連認定子ども園特別委員会委員、東村山市公立保育所民間移管ガイドライン検討委員など。(株) M-LABORATORY 代表取締役社長。

法律・政治を学ぶ傍らスポーツ活動にも力を入れ、日本代表にてモスクワへ。大学卒業後は、コンピュータ、医療、金融など様々な接点のもと実業団にて選手活動や広報・開発などにかかわる。

国民体育大会や全国大会にて優勝ほか入賞多数、東京都スポーツ優秀選手賞等、多々受賞。  
 中学校教諭・高等学校教諭免許、大型自動車運転免許、Microsoft Office Specialist、等取得。

2010 年 幼稚園型認定子ども園認定取得 (市内初)。  
 2013 年 0 歳〜5 歳児の「私立認定保育所」併設。  
 幼保連携型認定取得 (市内初)。  
 2015 年 幼稚園型・保育所型、2 園認定へ移行。



## いよいよ着工!

### Staff's Apartment

まだまだ進む少子化世代の就職事情。幼稚園教諭・保育士の雇用難は熾烈な状況を迎え始めました。雇用対策の一環として、また、東京での一人暮らしの不安や負担軽減のお役にたてればと、近隣休遊地活用、民間とのコラボにて、徒歩圏内に設置予定。福利厚生の上昇ならびに間接的な処遇改善にもつながるものと捉えています。

#### 「環境を大切にしたい」

子ども達の環境への想いと同様、普段の生活の中でも「素敵」と常に感じられるような環境は、心を豊かに、感性も磨いてくれるもの。「社員寮」という概念は捨て「住みたい!」と思えるような環境をと、一般的な賃貸物件よりワンランク上の内外装を目指し建設を進めています。

上の写真は理想のイメージ写真ですが、先々の園全体の計画中で、プールを移設する際に、音やプライバシーなどの配慮も考慮し、公道から面しない場所にて周囲は関係施設に囲まれた場所へ移設を進め、子ども達にとっても教職員にとっても、環境や風景の一環としても素敵な展開を目指し最終的なイメージの写真です。

※都の教職員居宅借り上げ制度を活用。  
 ※在職教職員の災害時帰宅困難への対応、研修・実習生の宿泊などにも活用予定。

